

- Eisenhüttenwes., 51 (1980), p. 249
- 23) H. W. GUDENAU and M. KURTH: Gas Waerme Intern., 31 (1982), p. 267
- 24) W. DAHL, F. H. FRANKE, H. W. GUDENAU, E. -U. REUTER, W. WENZEL and M. MOHTADI: Alma Mater Aquensis, 18 (1980/81), p. 122
- 25) K. GUNTERMANN, L. BEYER, J. -O. CHOI, F. FUHRMANN, P. KLINGENBERGER and K. RICHTER: Proc. 1985 Intn. Conf. on Coal Science, Sydney, Australia (1985年10月), p. 307 [Pergamon press]
- 26) K. GUNTERMANN, J. -O. CHOI, L. BEYER, P. KLINGENBERGER and F. H. FRANKE: Proc. 10th UCC-Symp., Williamsburg, Va (1984年8月), p. 307 [Morgantown Energy Technology Center, Morgantown, West Virginia]
- 27) R. R. GLASER, R. D. GUNN, W. D. KRANTZ, K. P. BREIDUNG and H. W. GUDENAU: Proc. 9th UCC-Symp., Bloomington, Mo (1983年8月), p. 219 [Morgantown Energy Technology Center, Morgantown, West Virginia]
- 28) K. GUNTERMANN, M. KURTH, H. W. GUDENAU and R. D. GUNN: Proc. 9th UCC-Symp., Bloomington, Mo (1983年8月), p. 397 [Morgantown Energy Technology Center, Morgantown, West Virginia]
- 29) W. DAHL: Mitteilungen aus dem Institut fuer Eisenhuettenkunde Bd30 (1980), p. 15
- 30) H. SCHENCK, J. P. FABER and C. CONSTANTINIDIS: Mitt. der "Forschungsstelle Stahlindustrien" an der RWTH Aachen (1978)
- 31) K. DAVES: Vorausbestimmungen im Wirtschaftleben, Essen (1951), Grosszahlmethodik und Haefugkeitsanalyse, Weinheim (1950)
- 32) P. GRAFF: Die Wirtschaftsprognose, Tuebingen (1977)
- 33) H. SCHENCK: Technische Mitteilungen, vol. 78 (1986), p. 537
- 34) H. SCHENCK: Mitt. der "Forschungsstelle Stahlindustrien" an der RWTH Aachen (1987)

## コ ラ ム

### 風が吹けば容器屋がもうかる？

ある大会社の社長さんが小文の中で「私の若い時、先輩から世の中のどんな出来事でもすべて自分（の仕事）に結びつけて考えてみる習慣をつけると洞察力の涵養に役立つと言われ心掛けてきた」と書いておられるのを読んで感銘を受けたことがある。

今日では飲料缶が全缶詰生産の9割近くを占めるようになってきている。春から夏にかけて天候が良く、気温が高ければ飲料缶の消費が増えるという現象は、「風が吹けば……桶屋が……」式の迂遠な話でもなく分かりやすい。今や日本では牛肉・オレンジの自由化の嵐が吹き荒れている。これらが自由化になると、缶用材料は果たしてどうなるかということも興味ある問題である。新鮮な安いオレンジが多量に入るようになれば、果実缶はどうしても苦戦になると思われる。牛肉の自由化の方はどうであろうか。安い牛肉により国内の畜産業者は転換を余儀なくされ、北海道あたりの肥沃で

広大な放牧地はアスパラ・スイートコーンなどの生産にまわされ、農産缶詰が盛んに……、一方、安い牛肉をたくさんたべるようになって、みんながせっせとジョギングを始めるようになり、汗をかけばスポーツ飲料を盛んに飲むようになる……、というふうな考えでいくとどうも桶屋のはなし臭くなりそうだ。

こうして原稿に向かっている側でテレビは、ペルシャ湾上空でイラン航空のエアバス旅客機が米国海軍艦艇のミサイルによつて撃墜され、イランの指導者が「今こそ米国と全面戦争の時が来た」と呼びかけていると報じている。この嵐は果たして缶容器ビジネスにどのように掛り合ってくるのであろうか……。昔ならさしずめ非常食用缶詰が見直されるという図式となるケースであるが、現代ではとてもこのような期待はもてるものではない。一步誤れば人類の破滅につながる戦争だけは大小にかかわらずなくなり、平和な世の中になつて欲しいものである。

(東洋鋼鈑(株)技術研究所 藤本輝則)